

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜総合ビジネス科/ファッションコース＞

科目名	ビジネスマナー実習	
担当教員実務経験	銀行にて秘書業務に従事した経験有	
対象学生	総合ビジネス科、ビジネス専攻科、情報システム科、ペットビジネス科、経営情報科	
授業時間数・単位数	6コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	あいさつ、正しい敬語の使い方、来客対応の使い方、電話対応、ビジネス文書の書き方について、講義と実習で身につける	
授業の到達目標	講義と実習を通して、社会人として必要なビジネスマナーを習得する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	関西レディースコーポレーション すぐに役立つビジネスマナー	
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
	社会人の基本マナー（身だしなみ・あいさつ・正しい敬語・コミュニケーション） 講義と実習	1
	来客対応 講義と実習	1
	ビジネス訪問 講義と実習	1
	電話対応 講義と実習	1
	ビジネス文書 交際マナー講義と実習	1
	まとめ 実技テスト	1
合計		6
	授業単位数	1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜総合ビジネス科/ファッションコース＞

科目名	服飾デザイン論 I	
担当教員の実務経験	アパレル会社にてデザイナー業務経験有、イラストレーター、スタイリスト	
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	6ブロック方式のプロポーションを基本とし、ポーズの技法を学ぶ	
授業の到達目標	基礎から手脚の様々な表情を描ける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習	授業時間内に完成しない場合は宿題とする	
使用教科書・教材・参考書	日本ファッション振興協会 服飾デザイン	
授業上の注意点	毎回授業開始10分間デッサンを行う	
授業計画（内容）		コマ数
服飾デザインの意義、美の本質について		1
人体について		1
婦人服の基本形		1
服装史、民族服		1
人体への適合と服の立体構造		1
デッサン実習		1
形態の基礎Ⅰ（点・線）		1
形態の基礎Ⅱ（角/面/立体）		1
デザイン画の基礎		1
プロポーションⅠ・Ⅱ		1
プロポーションⅢ・Ⅳ		1
正面ポーズ		1
腕・手		1
脚Ⅰ		1
脚Ⅱ		1
合計		15
授業単位数		1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜総合ビジネス科/ファッションコース＞

科目名	就職実務 I	
担当教員の実務経験	ファイナンシャルプランナー、コンサルティング会社経営	
対象学生	総合ビジネス科、情報システム科、経営情報科	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	就職活動に向けてのモチベーションを高めていく	
授業の到達目標	講義、実習、模擬面接を通して今後の就職活動に生かしていくことができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
社会人としてのモチベーションの保ち方（事例も交えて）		1
コミュニケーションの取り方（コミュニケーションアップの4段階）		1
ペーシングの実践		1
社会人としての心構え		1
自己分析の仕方、自己PRの仕方		1
ジョハリの窓～実践～		1
会社組織を考える		1
社会人基礎力とは？		1
対人不安の克服の仕方		1
働き方を考える。上司とのコミュニケーションの取り方		1
社会人に必要な法律知識		1
クレジットカードの仕組みとカード社会の光と影～模擬面接～		1
面接に向けての配慮事項～模擬面接～		1
～模擬面接～		1
～模擬面接～ 総評		1
合計		15
授業単位数		1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜総合ビジネス科/ファッションコース＞

科目名	和装技法 I	
担当教員の実務経験	着付け教室主宰	
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	12コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	和装の知識と着付けの技術、マナーを学ぶ。	
授業の到達目標	自分自身で着装することができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習	補正着の製作	
使用教科書・教材・参考書	全日本和装協会 尚美流 本科教本	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
師範と実習	着物の名称、たたみ方	1
補正製作指導、和装下着の着装		1
師範と実習	浴衣の着付け、半幅結び	1
師範と実習	浴衣着付け復習 半幅結び	1
師範と実習	半幅結び2種	1
師範と実習	長襦袢の着付け、たたみ方	1
前期	実技試験と筆記試験	1
師範と実習	小紋の着付け	1
実習	小紋の着付け復習	1
師範と実習	帯結び 名古屋帯 お太鼓結び	1
実習	帯結び 名古屋帯 お太鼓結び復習	1
後期	実技試験と筆記試験	1
	合計	12
	授業単位数	1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ITの職業と情報倫理	
担当教員の実務経験		
対象学生	経営情報科、情報システム科、こども総合科、医療福祉ビジネス科、総合ビジネス科、ビジネス専攻科、ペットビジネス科	
授業時間数・単位数	10 コマ	・ 1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	専門学校入学直後の導入科目として、これからの学習への動機付けと、安全のための情報モラル教育を行う。	
授業の到達目標	情報化社会において、被害者や加害者にならないための知識を学び、情報モラルを身につけ、情報機器を有効に活用できるようになること。	
成績評価方法と基準	出席状況及び科目試験の成績により評価する。A:80～ B:60～79 C:40～59 D:40未満	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ITの職業と情報倫理（SCC：学習ノート）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
(1) ITと応用分野		1
(2) IoTとAI		1
(3) ITの職業と資格		1
(4) 悪質商法の被害防止		1
アンケート、懸賞、割のいいアルバイト、からローン地獄にはまる例から学ぶ。		
(5) 個人情報とパスワード管理		1
個人情報の大切さ、顔の見えない付き合い、出会い系以外にもある危険。		
(6) 不当請求と迷惑メール対策		1
迷惑メールはどこから来るのか。こんな請求、払う？払わない？個人情報の流出。		
(7) メールや掲示板のマナーと法律		1
気軽な発言や画像送信で名誉毀損・プライバシー権侵害に。誰が書き込んだかはこうしてわかる。		
(8) 著作権		1
やっていいことと悪いこと。		
アニメ、音楽、「みんなやってるから」の大間違い、違法と合法の境目		
(9) 逮捕されるネットユーザたち		1
他人のIDでゲームをして逮捕、冗談のつもりが犯行予告騒ぎ、など。		
(10) コンピュータウイルスと対策		1
感染するとどうなるのか。感染しないための予防策を学ぶ。		
	合計	10
	授業単位数	1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	マーケティング概論	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科ファッションコース	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講義 [○] ・ 演習 [] ・ 実習 [○]	
授業の概要	ファッション業界におけるマーケティング活動（市場調査、トレンド分析、ファッションテイスト分析など）を講義と実習を通し習得する	
授業の到達目標	ファッションに関する商品知識やファッションコーディネートに必要な知識、技術を習得する	
成績評価方法と基準	出席と授業態度（50%）実技試験（50%）	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	文化ファッション流通大系 ファッション流通講座⑦ コーディネートテクニック演出編	
授業上の注意点	課題提出期限は守ること	
	授業計画（内容）	コマ数
	ファッションマーケティングについて 講義	1
	消費者ニーズとファッション生活 講義	1
	消費者ニーズとファッション生活 実習	2
	ライフスタイル 講義	1
	ライフスタイル 実習	2
	オケージョン 講義	1
	オケージョン 実習	2
	ワードローヴ・プラン 講義	1
	ワードローヴ・プラン 実習	2
	ファッションタイプ&フィーリング 講義	1
	ファッションタイプ&フィーリング 実習	2
	トレンドサイクル 講義	1
	トレンドサイクル 実習	2
	ディスプレイ実習	3
	市場調査	1
	シーズントレンド 講義	1
	シーズントレンド 実習	3
	プロモーション企画 講義	1
	プロモーション企画 実習	2
	合計	30
	授業単位数	2

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	服飾雑貨実習 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科ファッションコース	
授業時間数・単位数	30コマ	・ 2単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	服飾雑貨のデザイン知識や、実習にて講師の師範を受け、制作・縫製技術の習得を目指す	
授業の到達目標	服飾雑貨の制作・縫製技術を習得する	
成績評価方法と基準	出席と授業態度（50%）、課題提出（50%）	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸	
授業上の注意点	課題提出期限は守ること	
	授業計画（内容）	コマ数
	ビーズアクセサリー制作 師範	1
	ビーズアクセサリー制作 実習	3
	ヘンプアクセサリー制作 師範	1
	ヘンプアクセサリー制作 実習	3
	布小物制作 師範	1
	布小物制作 実習	3
	革ひもアクセサリー制作 師範	1
	革ひもアクセサリー制作 実習	3
	刺繍小物制作 師範	1
	刺繍小物制作 実習	3
	コサージュ制作① 師範	1
	コサージュ制作① 実習	1
	コサージュ制作② 師範	1
	コサージュ制作② 実習	3
	自主デザイン実習 デザイン	1
	自主デザイン実習 制作	3
	合計	30
	授業単位数	2

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ファッションビジネス概論 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	45コマ	3 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	ファッションビジネスのこれまでとこれからについて学ぶ	
授業の到達目標	ファッションをビジネスとしてとらえ、グローバルな進化を続ける業界を理解しこれからのあり方を自ら考えていくことができる。ファッションビジネス検定3級取得。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ファッションビジネス I 織研新聞 テキスタイルハンドブック	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	ファッションとは、衣服とファッション	2
	ファッションとファッション生活	1
	ファッションビジネスとは、構成メンバー	2
	ファッションビジネスの生活空間、変遷	2
	ファッションビジネス創工商	2
	ファッション産業の全体構造、テキスタイル産業の構造	2
	アパレル産業の構造	1
	繊維ファッション産業を支援する機関、前期試験	1
	アパレル企業の業務と職種	2
	ファッション小売業の業務と職種	1
	マーケティング、マーチャンダイジングの基礎知識	2
	アパレル生産の基礎知識	2
	実習 市場調査及び市場調査結果のプレゼンテーション	2
	計数管理	2
	ファッション文化とデザイン文化、服装史の基礎知識	2
	ファッションコーディネート	2
	ファッション商品知識	2
	ファッションデザイン、パターンメイキング、ファッション・エンジニアリング	1
	演習 検定試験対策 過去問題演習と解説	1 3
	期末試験	1
	合計	45
	授業単位数	3

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ファッションマーチャンダイジング	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	30コマ	2 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	ファッションマーチャンダイジングに必要なイメージ情報をビジュアル表現にするテクニックについて学ぶ。	
授業の到達目標	マップ作成を通して自己分析からアパレルシーズン企画書の作成ができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習	オケーションマップの作成	
使用教科書・教材・参考書	目で見えるファッションマップの作り方、織研新聞、ファッション販売	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	ファッションイメージマップの理解、基礎知識	2
	解説とマップ作成演習1 生活用途の把握	2
	解説とマップ作成演習2 オケーションマップ	2
	解説とマップ作成演習3 雑誌分析とポジショニング	2
	解説とマップ作成演習4 自身のライフスタイルマップ	2
	解説とマップ作成演習5 友人のライフスタイルマップ	2
	解説とマップ作成演習6 感性別コーディネートマップ	2
	解説とマップ作成演習7 シルエット感性別コーディネートマップ	2
	解説とマップ作成演習8 シーズンサイクルコーディネートマップ	2
	解説とマップ作成演習9 ウィークリーコーディネートマップ	4
	ウィークリーコーディネートマッププレゼンテーション	1
	解説とマップ作成演習10 ターゲット企画書	6
	ターゲット企画書 プレゼンテーション	1
	合計	30
	授業単位数	2

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	フォーマルウエア概論	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	フォーマルウエアのルールとマナーについて学ぶ。	
授業の到達目標	販売現場でお客様へ適切なアドバイスができる知識と感性を身につける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習	オケージョンマップの作成	
使用教科書・教材・参考書	フォーマルウエアルールブック	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	フォーマルの定義、オケージョンとは	1
	フォーマルライフスタイル、歴史	1
	フォーマルシーン分類Ⅰ	1
	フォーマルシーン分類Ⅱ	1
	昼のフォーマルシーン	1
	夜のフォーマルシーン	1
	ブライダルフォーマルシーン	1
	喪のフォーマルシーン	1
	実習 フォーマルオケージョンマップ製作Ⅰとプレゼンテーション	1
	フォーマルウエアメニュー メンズ 確認テスト	1
	フォーマルウエアメニュー レディス 確認テスト	1
	実習 フォーマルオケージョンマップ製作Ⅱとプレゼンテーション	1
	過去問題の実施と解説	3
	合計	15
	授業単位数	1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	被服構成学 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科 ファッションコース	
授業時間数・単位数	45コマ	3 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	被服製作のため作図技法、展開方法を原型、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピースについて学ぶ	
授業の到達目標	原型、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピースのアイテムにおいて自作のデザインの作図ができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	文化ファッション体系 「スカート・パンツ」、「ブラウス・ワンピース」	
授業上の注意点	計算が苦手な場合は電卓使用可	
	授業計画（内容）	コマ数
	スカート各種パターンの作図と展開	12
	原型作図 見頃・袖	2
	ブラウス各種パターンの作図と展開	7
	衿各種パターン作図と展開	2
	パンツ各種パターンの作図と展開	7
	ワンピース各種パターンの作図と展開	14
	学年末試験	1
	合計	45
	授業単位数	3

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	服飾造形実習 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科	
授業時間数・単位数	60コマ	4 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	原型、スカート、ブラウス、パンツ制作実習師範と実習	
授業の到達目標	スカート、ブラウス、パンツを自らデザインして製作することができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	文化ファッション体系 「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」	
授業上の注意点	被服構成学と並行して学習する	
	授業計画（内容）	コマ数
	セミタイトスカート制作の師範と実習	10
	デザインスカート制作実習	8
	原型制作と補正の師範と実習	2
	シャツブラウス制作の師範と実習	12
	ストレートパンツ制作の師範と実習	15
	デザインパンツ制作実習	13
	合計	60
	授業単位数	4

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	服飾造形基礎	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科	
授業時間数・単位数	30コマ	2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	服飾造形で使用する基本的なディテールの縫製を師範と実習で学ぶ。	
授業の到達目標	基本の手仕事、ディテールの縫製を服飾造形に活用できる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	文化ファッション体系 「縫製の基礎」	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	ボタン付け、まつり縫い	2
	アイロンがけ、袋物制作	2
	ファスナー付け（フラットニット、コンシール、裏付き）	2
	スリット、ベンツ（裏なし、裏付き）	2
	バイアステープの作り方、縁どり、パイピング	2
	布ループの作り方、ループあき	2
	レースのつけ方5種	2
	袖口短冊あき	1
	ボウカラー 作図と縫製	2
	ポケット アウトポケット、シームポケット	2
	ポケット 片玉縁ポケット、両玉縁ポケット ソーイングペーパーを使用して	2
	ポケット フラップ付き片玉縁ポケット	2
	ボタンホール 手かがり、玉縁	2
	ジャケット用片玉縁ポケット ソーイングペーパーと布地で	2
	ジャケット用付き両玉縁ポケット ソーイングペーパーと布地で	3
	合計	30
	授業単位数	2

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職対策	
担当教員の実務経験		
対象学生	情報システム科1年、総合ビジネス科1年、ビジネス専攻科1年	
授業時間数・単位数	15コマ・1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	自己分析、職種・業種・企業研究、企業選択、受験準備、会社訪問、採用試験など、就職活動における一連の流れに沿った知識やマナーを修得し、受講者が各場面において活かすことができるよう、就職活動の準備を行います。	
授業の到達目標	自己分析、職種・業種・企業研究、企業選択、受験準備、会社訪問、採用試験などの就職活動の各場面において必要となる知識やマナーを修得し、活かすことができるようになることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	・就職対策学習ノート(SCC)	
授業上の注意点		
授業計画(内容)		コマ数
学生から社会人へ ～就職するって?～		1
自己分析 ～何のため? 自分のため!～ ①		1
自己分析 ～何のため? 自分のため!～ ②		1
職種研究・業種研究 ～自分に合った仕事は?～		1
企業研究・企業選択 ～相手のこともよく知ろう～		1
提出書類 ～履歴書作成にも練習あり～		1
会社訪問の心構え ～チャンスを活かそう～		1
筆記試験 ～やった分だけ力になる～		1
作文・論文 ～正しい日本語、適切な日本語～ ①		1
作文・論文 ～正しい日本語、適切な日本語～ ②		1
面接試験 ～ここでアピールしなければ!～ ①		1
面接試験 ～ここでアピールしなければ!～ ②		1
内定後 ～これからがはじまりだ!～		1
リクルート・ファッション ～就職活動の身だしなみ～ <男子学生編>		1
リクルート・ファッション ～就職活動の身だしなみ～ <女子学生編>		1
	合計	15
	授業単位数	1

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	オフィスアプリケーション(PC)	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科1年/ビジネス専攻科1年	
授業時間数・単位数	60コマ ・4単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	Microsoft WordおよびExcelの操作方法を習得する。	
授業の到達目標	適切な書式設定を行い、表や画像をレイアウトした文書が作成できる。 数式やグラフを用いてデータを正しく活用した書類を作成できる。 MOS Word2016およびMOS Excel2016に合格する。	
成績評価方法と基準	Microsoft Office Specialist Word 2016 試験結果(50%) Microsoft Office Specialist Excel 2016 試験結果(50%)により成績評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	FOM出版 ・よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト&問題集 ・よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel 2016 対策テキスト&問題集	
授業上の注意点	欠席しないこと。	
	授業計画（内容）	コマ数
文書の作成と管理		1
文書の表示とカスタマイズ		1
文書を印刷、保存		1
文字列・段落の挿入		1
文字列・段落の書式設定		2
文字列や段落を並べ替える、グループ化する		1
表の作成・変更		2
リストの作成・変更		1
参考資料の作成・管理		1
グラフィック要素を挿入する		2
グラフィック要素を書式設定する		2
模擬試験(WORD)		15
ワークシートやブックを作成する		1
ワークシートやブックの書式を設定する		1
セルやセル範囲にデータを挿入する		1
セルやセル範囲の書式を設定する		1
データをまとめる、整理する		1
テーブルの作成・管理		1
テーブルのスタイルと設定オプションを管理する		1
テーブルのレコードを抽出する、並べ替える		1
関数を使用してデータを集計する		2
関数を使用して条件付きの計算を実行する		2
関数を使用して書式を設定する、文字列を変更する		1
グラフを作成する		1
グラフを書式設定する		1
オブジェクトを挿入する、書式設定する		1
模擬試験(EXCEL)		18
	合計	64
	授業単位数	4

2019年度 授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	色彩学 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	総合ビジネス科	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	色彩知識を理解し、配色技術、ファッション、インテリアのカラーコーディネート技術を実習をしながら習得する	
授業の到達目標	色彩知識を理解し、配色技術を実習をしながら習得する 色彩検定3級の合格を目指す	
成績評価方法と基準	出席と授業態度（50%）、課題提出（30%）、試験結果（20%）	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	A F T色彩検定公式テキスト 3級編、 U-CAN色彩検定3級テーマ別問題&予想模試 配色カード199a	
授業上の注意点	提出課題は期限を守る	
授業計画（内容）		コマ数
色のはたらき		1
色の見える仕組み		1
混色		1
色の分類と三属性		1
PCCS		2
小テスト		1
言葉による色表示		1
色の心理効果、色の視覚効果		1
色の知覚効果		1
配色の基本的考え方		2
配色実習		4
配色技法		1
小テスト		1
色彩と構成		1
色彩と生活		1
ファッションの色彩		1
インテリアの色彩		1
まとめ		1
試験対策		4
カラーコーディネート 実習		3
合計		30
授業単位数		2